

市民トンボ調査結果



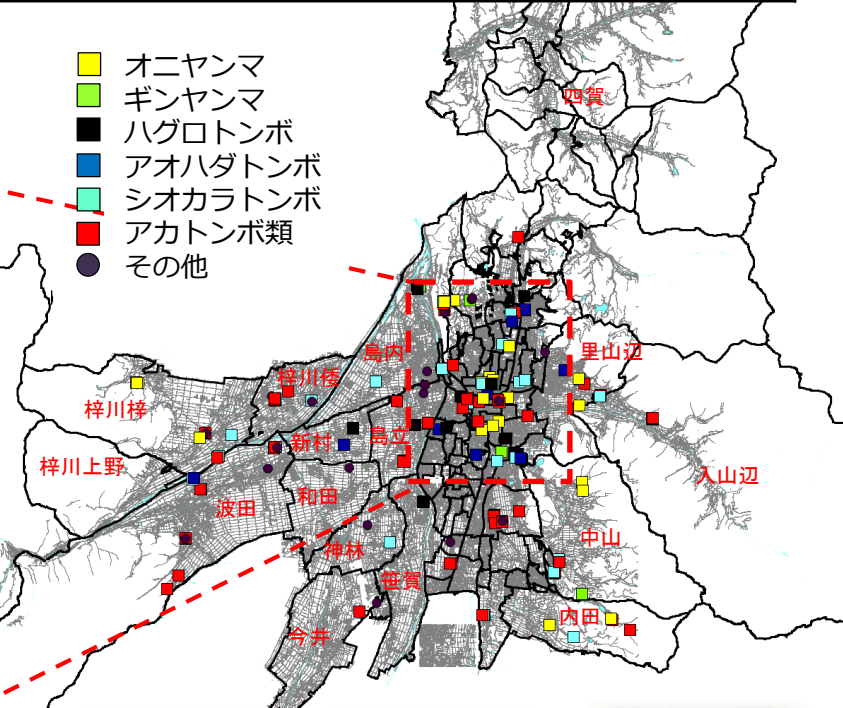
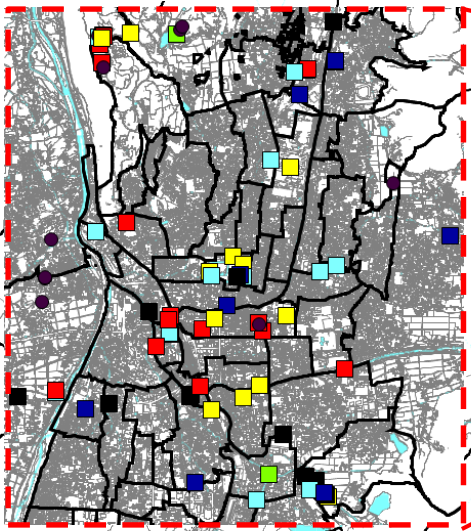
- 調査期間 令和元年6月3日(月)から9月30日(月)まで
- 報告件数 . . . 199件 報告者数 . . . 67人

オニヤンマ ■	ギンヤンマ ■
 <p>26件 水路、小川、田んぼや植栽にとまっていたという報告があった。</p> <p>オス</p>	 <p>5件 池や川の近くからの報告があった。</p> <p>前：オス 後：メス</p>
ハグロトンボ ■	アオハダトンボ ■
 <p>20件 和泉川周辺の報告が多かった。池や川周辺の草むらにいたという報告があった。</p> <p>メス</p>	 <p>15件 庭や池からの報告があった。</p> <p>オス</p>
シオカラトンボ ■	アカトンボ類 ■
 <p>34件 畑、田んぼ、公園など幅広い報告があった。</p> <p>オス</p>	 <p>66件 畑、田んぼ、公園など幅広い報告があった。</p> <p>前：オス 後：メス</p>
その他(コシアキトンボ、ハラビロトンボ、オツネトンボ、アオイトトンボなど) 33件	

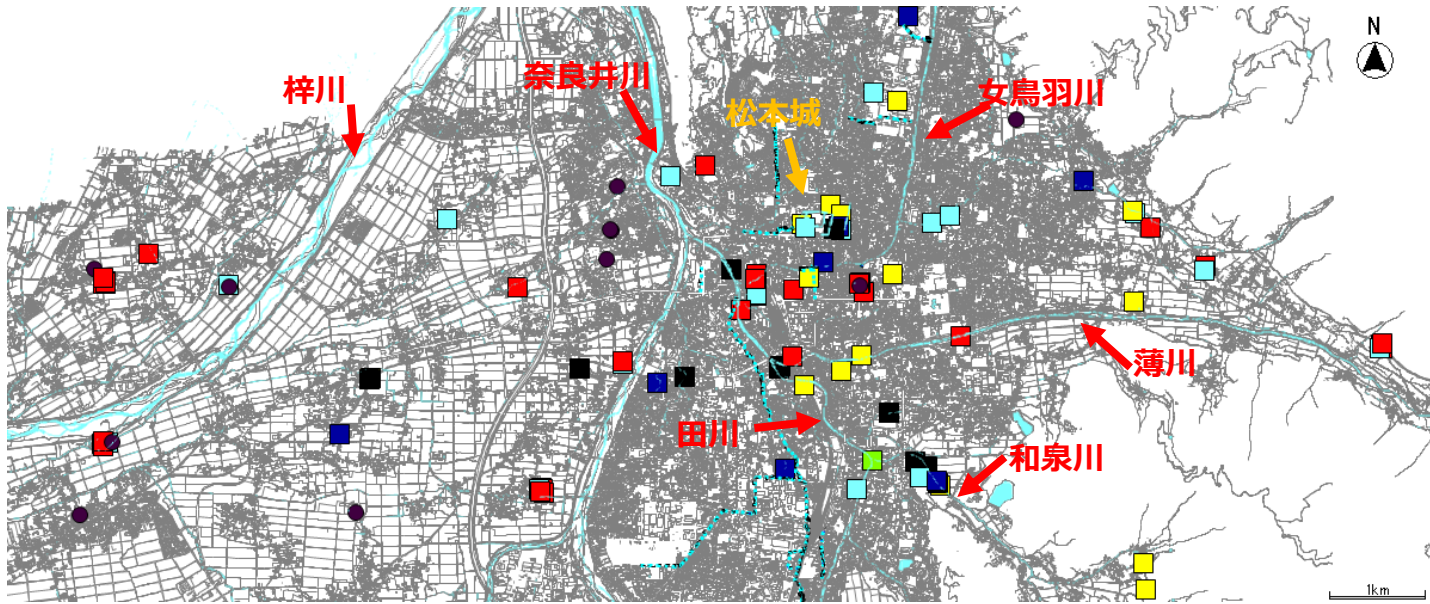
● 市内トンボマップ

- オニヤンマ
- ギンヤンマ
- ハグロトンボ
- アオハダトンボ
- シオカラトンボ
- アカトンボ類
- その他

市街地拡大図



● トンボの報告位置と河川



● 調査結果（考えられること）

○市街地から多くの報告があることから市街地周辺にもトンボの生息環境がある。

- ・ 市内の身近な河川・水路に流水性のハグロトンボ、アオハダトンボ、オニヤンマが観察されることがわかった。

（考えられる生息環境）

- ・ 女鳥羽川や田川などの河川が市街地周辺を流れていること
- ・ 松本城のお堀や豊かな湧水による水路が多数あること

○ギンヤンマの報告が5件と少なく、アカトンボ類の報告が最も多かった。

- ・ シオカラトンボは小さな池、湿地、水田など生息範囲が広いので報告数も多かったが、ギンヤンマは比較的大きな池などで見られ、観察される場所が限られることから報告数が少なかったと思われる。
- ・ アカトンボ類は主に水田で発生し、夏場は水田を離れて移動することから市街地でもよく見られ、報告数が多かったと考えられる。

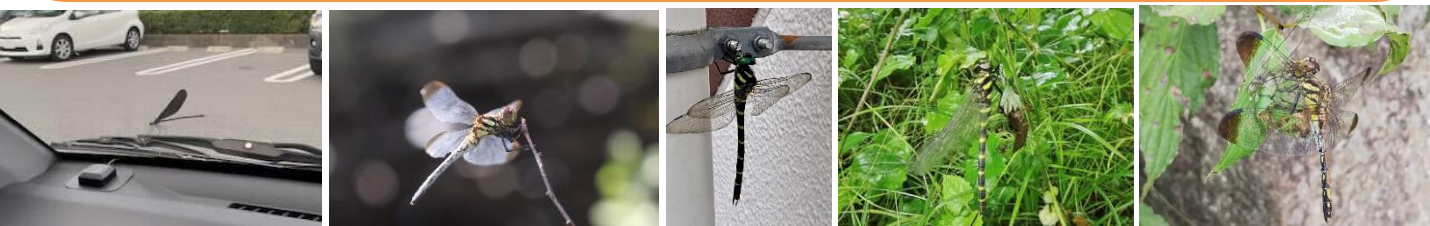
○報告者の生きものに対する興味・関心が高まった感想があった。

（報告に合わせていただいた感想）

- ・ 子どものころを思い出す。
- ・ トンボのつかみ方を知らない子、手で取るのが初めての子も慣れた。

○感想の中には、10年前はオニヤンマ、シオカラトンボを見たが近年見かけなくなったという声もあった。

○本結果を基に定期的に調査を行い、経年比較する必要がある。



松本市役所 環境部 環境保全課 環境保全係（東庁舎4階）
〒390-8620 松本市丸の内3-7 ☎34-3267
e-mail : kankyo-k@city.matsumoto.lg.jp

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本